

# 防災拠点ニュース

平成20年12月18日

くぬぎ台小学校

地域防災拠点運営委員会

No.4 通巻64号

## 大規模 夜間訓練実施

—くぬぎ台小地域防災拠点—

地震はいつ起こるかわかりません。昼か夜か予知することもできません。地震対策はエンドレスです。今回は夜間大地震が起きたらどうなるか想定して、少しでも模擬体験をしておくことで、その場の身の安全を図る心構えができると思います。また訓練か、と言わず自分のため、家族のためと考え防災訓練には手を上げて参加するべきです。

去る9月28日(日)午後6時から夜間訓練は行われました。最終参加総数は620名でした。



—多くのボランティア団体に  
支えられて—

夜間にもかかわらず、また、夜間訓練と言う主旨に賛同して市内県内から多くのボランティア団体が応援と参加協力を駆けつけました。人とのつながりは本当に大切だとつくづく思います。

防災訓練は地域住民の防災力を付けていくため、

切磋琢磨して行っていますが、特に夜間訓練はボランティアの支えと連携が何より大切だと痛感しました。拠点委員の少ない中、中核になる人材が不足し、それを補うにはボランティア団体の力も借りなければ人の安全は難しいと思います。

しかし何といたっても、まず地域住民が自分たちの手でどこまで立ち上がっていけるか復興の一步ができるようにしていきたいと強く感じました。



—夜間訓練は時間厳守ですること—

今年のメニューは、校庭と体育館で体験訓練を実施。本部班では、FM放送局開設、パソコンボランティアが防災訓練に初挑戦などメディアの活用を充実させました。体験訓練は家屋倒壊から救出救助、心肺蘇生法、起震車、初期消火等に移動照明を駆使して訓練しました。体育館は暗闇の中1㎡マスに座って避難所としての窮屈さを体験しながら救助犬と警備犬の演技、また、防犯対策として振り込め詐欺の寸劇など見学しました。

訓練といえども夜間は怖い、はぐれないようにするためグループの移動と時間調整には気を使いました。